

第3回村野藤吾賞——受賞者 伊東豊雄

受賞作品は「サッポロビール北海道工場ゲストハウス

このほど、第3回村野藤吾賞が決定し、村野藤吾記念会より結果が発表された。それによると今回の受賞者は伊東豊雄氏で、受賞対象作品は「サッポロビール北海道工場ゲストハウス」（新建築1989年11月号掲載）

受賞理由には、建築とランドスケープを一体化させ、その両者のより優れた特性を引き出し、新しいデザイン的環境を創出していることがまず挙げられている。そして伊東氏が追求している現代における建築の軽みが、この風土条件のなかでさらに透明さを獲得し、伸びやかさを見せ、また内部空間も天井に青空や星空を描き、軽やかな布張りを配し外部のデザインとの連続性を保つなど、現代建築のこれからの方向性のひとつを見事に指し示していることが高く評価されている。

この賞は「わが国の現代建築の向上、発展に偉大な功績を残した建築家、村野藤吾を記念し、これからの日本の建築界に新風を吹き込み、建築の新しい時代を担っていくであろう建築家を毎年ひとり選んで贈る」もので、第1回は原広司氏が「ヤマトインターナショナル」で、第2回は阪田誠造氏が「東京サレジオ学園」で選ばれている。

なお、今回の選考委員は穂積信夫、中島隆、林昌二、竹山実、原広司の各氏で、去る4月5日に最終選考が行われた。